

注3

大学番号：私075

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

芝浦工業大学 建築学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 芝浦工業大学  
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 豊洲学事部大学企画課

電話番号 03-5859-7200

F A X 03-5859-7201

e-mail kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 建築学部

### <建築学科>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費（省略）
4. 既設大学等の状況
5. 教員組織の状況（省略）
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 芝浦工業大学

## (2) 大学名

芝浦工業大学

## (3) 大学の位置

〒135-8548  
東京都江東区豊洲3丁目7番5号  
(〒108-8548  
東京都港区芝浦3丁目9番14号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イガラシ ヒサヤ) 五十嵐 久也 (平成22年6月)		
学長	(ムラカミ マサト) 村上 雅人 (平成24年4月)		
学部長	(ホリコシ ヒデツグ) 堀越 英嗣 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
建築学部 建築学科 学士(建築学)	工学関係	4年	240人	- 年次人	960人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	240人 ( - ) [ - ]	( ) [ ]	1.12倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	8052 ( - ) [ 30 ]	( - ) [ - ]		
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	7833 ( - ) [ 30 ]	( - ) [ - ]		
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1120 ( - ) [ 15 ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	270 ( - ) [ 14 ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A							1.12			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	270 [ 14 ]	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	270 [ 14 ] ( - )	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		-
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		-
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		-
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	270 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	270 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<建築学部 建築学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	建築デザイン基礎1	1前	2			3						兼5→兼6 兼1	共同、教育充実のため担当者増(29) 教育充実のため担当者増(29)
	建築デザイン入門	1前		2		1→2							
	居住空間史	1前		2									
	力学の基礎	1前		2		4	1						
	デザイン史	1後		2								兼1	
	建築デザイン基礎2	1後	2				2					兼7	共同
	建築の形態と空間	1後		2			1→2					兼4→0	定年延長のため配置変更(29)
	建築環境工学1	1後		2			2						オムニバス
	構造力学・演習	1後		3			2					0→兼1	教育充実のため担当者増(29)
	空間建築デザイン演習1	1後		2			2						共同
	都市建築デザイン演習1	1後		2					1			兼1	共同
	建築田のづくり	1後		2			1	1→0					昇格のため配置変更(29)
	建築スタジオ演習1	1後		2			1					兼2	共同
	住生活論	2前		2								兼1	
	CAD・CG演習	2前		2			1					兼3	共同
	都市地域計画	2前		2			2	1					
	建築環境工学2	2前		2			1					兼1	オムニバス
	材料力学・演習	2前		3			1					兼2	
	建築構造計画	2前		2			1	1					
	構造材料	2前		2			1	1→0				兼1	昇格のため配置変更(29)
	空間建築デザイン演習2	2前		2			1					兼5	共同
	建築設計計画論	2前		2			1						
	都市建築デザイン演習2	2前		2			2					兼5	共同
	建築計画1	2前		2			1						
	西洋建築史	2前		2			1						
	建築スタジオ演習2	2前		2			2					兼1	共同
	プロジェクト研究1	2前		2			1	1					
	色彩・素材論	2後		2								兼1	
	建築環境心理学	2後		2								兼1	
	日本建築史	2後・3前		2			2						
	BIM演習1	2後		2			1	1→0				兼3	共同、昇格のため配置変更(29)
	建築設備	2後		2			2						
	建築構造解析・演習	2後		3			1	1				兼1	
	仕上げ材料	2後		2			1	1→0				兼1	昇格のため配置変更(29)
	空間建築デザイン演習3	2後		2			3					兼4	共同
	建築設計論	2後		2			1					兼1	
	地域設計論	2後		2			2						
	建築史	2後		2			1						
	建築構法	2後		2			1						
	都市建築デザイン演習3	2後		2			1					兼5	共同
	都市建築論	2後		2			1						
地域マネジメント	2後		2				1						
木造建築	2後		2			1							
建築スタジオ演習3	2後		2				1				兼2	共同	
プロジェクト研究2	2後		2			1					兼2		
BIM演習2	3前		2			1	1→0				兼4	共同、昇格のため配置変更(29)	
空調システム計画	3前		2			2							
都市環境設備計画	3前		2			1							
建築振動解析	3前		2			1					兼1		
鉄筋コンクリート造の設計1	3前		2			2							
鋼構造の設計	3前		2				1				兼1		
建築環境実験	3前		2			3					兼2	オムニバス・共同(一部)	
空間建築デザイン演習4	3前		2			4					兼4	共同	
近代建築と技術	3前		2								兼1		
建築構法計画論	3前		2			1							
建築法規	3前		2								兼1		
都市住宅論	3前		2			1							
建築生産	3前		2			1	1→0					昇格のため配置変更(29)	
建築材料施工実験	3前		2			1	1→0				兼1	共同、昇格のため配置変更(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	建築構造実験	3前		2		2	1					兼3	共同
	都市建築デザイン演習4	3前		2		5						兼1	共同
	都市地域デザイン演習	3前		2		1	1					兼1	共同
	近代建築作家論	3前		2		1							
	都市デザイン論	3前		2		1							
	建築プロジェクトマネジメント	3前		2		1	4→0						昇格のため配置変更(29)
	建築構工法1	3前		2		1							
	建築材料構造実験	3前		2		2							共同
	建築スタジオ演習4	3前		2		1	1						
	空間情報デザイン演習	3前		2		1						兼1	共同
	プロジェクト研究3	3前		2		1						兼2	
	建築英語	3後		2								兼1	
	GIS演習	3後		2		1							
	プロジェクトゼミ	3後		2		22→25	5→3	1					2名昇格、1名定年延長のため配置変更(29)
	建築音響計画	3後		2								兼1	
	給排水システム計画	3後		2								兼1	
	光環境計画	3後		2								兼1	
	基礎構造	3後		2								兼1	
	鉄筋コンクリート造の設計2	3後		2		1							
	マトリックス構造解析	3後		2		1							
	建築防災	3後		2		1							
	空間地域デザイン演習	3後		2		2						兼1	共同
	ランドスケープ論	3後		2								兼1	
	建築文化史	3後		2		1							
	施工計画・管理	3後		2								兼1	
	木造建築の設計	3後		2								兼1	
	建築計画2	3後		2		1							
	建築・都市法規	3後		2		1							
	都市開発マネジメント	3後		2								兼2	
	近代建築史	3後		2								兼1	
	建築経済	3後		2								兼1	
	建築構工法2	3後		2								兼1	
空間保全再生計画	3後		2								兼1		
維持保全・改修	3後		2		1→2	1→0						昇格のため配置変更(29)	
卒業研究→卒業研究1	4通 →4前・後	4→2			22→25	5→3	1					履修時期柔軟化のための科目の分割(29)、2名昇格、1名定年延長のため配置変更(29)	
卒業研究2	4通 →4前・後	2			25	3	1					履修時期柔軟化のための科目の分割(29)	
建築家職能論	4前		2								兼1		
都市防災計画	4前		2								兼1		
海外建築研修	2後		2		1						兼1	集中・共同	
国内プロジェクト1	1→2 →3前 →1・2・3前・後		1			1						集中、履修時期柔軟化のための科目の分割(29)	
国内プロジェクト2	1→2 →3前 →1・2・3前・後		1		1							集中、履修時期柔軟化のための科目の分割(29)	
国内プロジェクト3	1→2 →3前 →1・2・3前・後		1			1						集中、履修時期柔軟化のための科目の分割(29)	



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	国内プロジェクト4	<del>1→2</del> <del>→3前</del> →1・ 2 ・3 前・ 後		1		1						集中、履修時期柔軟化のための科目の分割(29)
	インターンシップ1	<del>3→</del> <del>4前⇒</del> 3・ 4前・ 後		1		1						集中、履修時期柔軟化のための科目の分割(29)
	インターンシップ2	<del>3→</del> <del>4前⇒</del> 3・ 4前・ 後		1		1						集中、履修時期柔軟化のための科目の分割2017.3
	国際プロジェクトA	<del>1→2</del> <del>→3前</del> →1・2・ 3・4前・ 後		1		1						集中、履修時期柔軟化のための科目の分割(29)
	国際プロジェクトB	<del>1→2</del> <del>→3前</del> →1・2・ 3・4前・ 後		1		1						集中、履修時期柔軟化のための科目の分割(29)
	韓国建築実習A	3前		2		2						共同・集中・隔年
	韓国建築実習B	3前		2		2						共同・集中・隔年
	フランス建築実習A	3前		2		1		1				共同・集中・隔年
	フランス建築実習B	3前		2		1		1				共同・集中・隔年
	イタリア建築実習A	3後		2		1	1				兼1	共同・集中・隔年
	イタリア建築実習B	3後		2		1	1				兼1	共同・集中・隔年
	ロシア建築実習A	3後		2		1					兼1	共同・集中・隔年
	ロシア建築実習B	3後		2		1					兼1	共同・集中・隔年
	芝浦工業大学通論	<del>4前→後</del>			2							兼1
	小計(114科目)	-	13	210	2→0	22→ 25	5→3	1	0	0	兼88→兼87	-
共 通 ・ 教 養 科 目	微分積分第1	1前		2		1					兼6→兼2	開講クラス数に見合う教員数に変更(29)専任教員の増員(29)
	微分積分第2	1前		2		1					兼6→兼2	開講クラス数に見合う教員数に変更(29)専任教員の増員(29)
	線形代数1→線形代数第1	1前		2→1		1					兼7→兼2	科目のクォーター化による科目の分割、開講クラス数に見合う教員数に変更(29)専任教員の増員(29)
	線形代数第2	1前		1		1					兼2	科目のクォーター化による科目の分割(29)専任教員の増員(29)
	微分積分第3	1後		2		1					兼4→兼1	開講クラス数に見合う教員数に変更(29)専任教員の増員(29)
	微分積分第4	1後		2		1					兼4→兼1	開講クラス数に見合う教員数に変更(29)専任教員の増員(29)
	線形代数2→線形代数第3	1後		2→1		1					兼6→兼1	科目のクォーター化による科目の分割、開講クラス数に見合う教員数に変更(29)専任教員の増員(29)
	線形代数第4	1後		1		1					兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)専任教員の増員(29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通・教養科目 数学基礎科目	確率と統計1→確率と統計第1	2前		2→1							兼3	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	確率と統計第2	2前		1							兼3	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	微分方程式→微分方程式第1	2前		2→1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	微分方程式第2	2前		1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	ベクトル解析→ベクトル解析第1	2前		2→1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	ベクトル解析第2	2前		1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	フーリエ解析→フーリエ解析第1	2前		2→1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	フーリエ解析第2	2前		1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	確率と統計2→確率と統計第3	2後		2→1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	確率と統計第4	2後		1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	ラプラス変換→ラプラス変換第1	2後		2→1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	ラプラス変換第2	2後		1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	関数論→関数論第1	2後		2→1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	関数論第2	2後		1							兼1	科目のクォーター化による科目の分割(29)
	小計(13→22科目)	-	0	26	0	0→1	0	0	0	0	兼14→兼7	-
共通・教養科目 数理基礎科目	物理学入門	1前		2							兼3	
	基礎力学	1後		2							兼1	
	基礎力学演習	1後		2							兼1	
	基礎環境化学	1前・後		2							兼2	
	基礎電磁気学	1後		2							兼1	
	基礎電磁気学演習	1後		2							兼1	
	基礎熱統計力学	2前		2							兼1	
	基礎熱統計力学演習	2前		2							兼1	
		小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	兼6
共通・教養科目 外国語科目	Listening and Speaking I	1前		2		1					兼4→兼3	専任教員の増員(29)
	Reading and Writing I	1後		2		1					兼4→兼3	専任教員の増員(29)
	English Communication I	1後		2							兼5→兼3	時間割の都合による担当者の減少(29)
	TOEIC IA	2前		2							兼2	
	Reading IA	2前		2							兼1	
	Writing IA	2前		2							兼1	
	Presentation I	2前		2							兼1	
	TOEIC IB	2後		2							兼1	
	Reading IB	2後		2							兼1	
	Writing IB	2後		2							兼1	
	Presentation II	2後		2							兼1	
	TOEIC II	3前		2							兼1	
	小計(12科目)	-	0	24	0	0→1	0	0	0	0	兼8→兼7	-





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通・健康科目	身体運動のバイオメカニクス	1・2・3・4前		2							兼1	
	スポーツ生理学	1・2・3・4後		2							兼1	
	スポーツ健康学	3・4前・後		2							兼1	
	ヘルスリテラシー & スポーツコミュニケーション	1・2・3・4前		2							兼2	
	ヘルスコンディショニング演習	1・2・3・4後 →1・2・3・4前		2							兼1	より適切な開講時期に変更(29)
	エクササイズ演習(基礎)	3・4前		2							兼1→0	教員退職により担当者未定(29)
	エクササイズ演習(応用)	3・4後		2							兼1→0	教員退職により担当者未定(29)
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	兼5→兼3	-	
全学共通科目	芝浦工業大学通論	1・2・3・4前・後		2							兼1	全学的な学修・教育目標の策定に伴い、開講(29)
	ダイバーシティ入門	1・2・3・4前・後		2							兼1	全学的な学修・教育目標の策定に伴い、開講(29)
	Japanese Language I	1・2・3・4前・後		2							兼1	全学的な学修・教育目標の策定に伴い、開講(29)
	Japanese Language II	1・2・3・4前・後		2							兼1	全学的な学修・教育目標の策定に伴い、開講(29)
	Japanese Language III	1・2・3・4前・後		2							兼1	全学的な学修・教育目標の策定に伴い、開講(29)
小計(5科目)	-	0	0	10	0	0	0	0	0	兼4	-	
合計(215→230科目)	-	13	389 → 390	2 → 10	22 → 27	5 → 3	1	0	0	兼163→兼157	-	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 5	科目 209	科目 1	科目 215	科目 6	科目 219	科目 5	科目 230	
				[1 ]	[10 ]	[4 ]	[15 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ウェルネス・スポーツ (テクニカル)	1	1・2・3・4前	一般	選択	授業内容、時間割、各年次の科目 配当を再検討し、開講年次を変更 したため。3年次前期(2019年 度)に開講する。
2	ウェルネス・スポーツ (スポーツコミュニケーション)	1	1・2・3・4後	一般	選択	授業内容、時間割、各年次の科目 配当を再検討し、開講年次を変更 したため。3年次後期(2019年 度)に開講する。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今年度未開講科目は配当年次を変更して開講する。このため、今年度入学生は在学中に履修できる。今年度の授業科目については、新入生へのガイダンスに加え、大学WEBサイトおよび『学修の手引』の科目配当表に記載し、周知を行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{215} = \boxed{0.93}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	芝浦工業大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械工学科	4	115	-	415	学士（工学）	1.08	昭和24年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H29.4より15名定員増
機械機能工学科	4	115	-	415	学士（機械機能工学）	1.13	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
材料工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.09	昭和31年度	同上	H29.4より15名定員増
応用化学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.12	昭和29年度	同上	H29.4より15名定員増
電気工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.12	昭和25年度	同上	H29.4より15名定員増
通信工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.11	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
電子工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.10	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
土木工学科	4	105	-	375	学士（工学）	1.12	昭和24年度	同上	H29.4より15名定員増
建築学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	昭和29年度	同上	H29.4より募集停止
建築工学科	4	-	-	-	学士（工学）	-	昭和41年度	同上	H29.4より募集停止
情報工学科	4	115	-	415	学士（工学）	1.08	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
システム理工学部									
電子情報システム学科	4	115	-	415	学士（工学）	1.08	平成3年度	埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H29.4より5名定員増
機械制御システム学科	4	90	-	330	学士（工学）	1.08	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
環境システム学科	4	90	-	330	学士（工学）	1.15	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
生命科学科	4	115	-	415	学士（生命科学）	1.13	平成20年度	同上	H29.4より5名定員増
数理科学科	4	75	-	285	学士（数理科学）	1.05	平成21年度	同上	H29.4より5名定員増
デザイン工学部									
デザイン工学科	4	160	-	580	学士（デザイン工学）	1.10	平成21年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地	H29.4より20名定員増
建築学部									
建築学科	4	240	-	240	学士（建築学）	1.12	平成29年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号	H29.4 開設

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 修士課程													
電気電子情報工学 専攻	2	100	-	200	修士(工学)	1.18	昭和38年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地					
材料工学専攻	2	30	-	60	修士(工学)	1.39	昭和38年度	同上					
応用化学専攻	2	20	-	40	修士(工学)	1.55	昭和38年度	同上					
機械工学専攻	2	65	-	145	修士(工学)	1.54	昭和51年度	同上					
建設工学専攻	2	90	-	180	修士(工学)	1.28	昭和51年度	同上					
システム理工学専攻	2	50	-	100	修士 (システム理工学)	1.46	平成23年度	同上					
国際理工学専攻	2	10	-	10	修士(理工学)	0.90	平成29年度	同上					
博士(後期)課程													
地域環境システム専攻	3	10	-	30	博士(工学)又は 博士(学術)	0.66	平成7年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区大字深作307番地					
機能制御システム専攻	3	8	-	24	博士(工学)又は 博士(学術)	1.58	平成7年度	同上					
専門職大学院 工学マネジメント研究科 専門職学位課程													
工学マネジメント専攻	2	28	-	56	技術経営修士 (専門職)	0.42	平成15年度	東京都港区芝浦3丁目9番14号	H29.4より募集停止				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

### <建築学部 建築学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教授会委員会の一つとして建築学部FD委員会を設置し、既存の他学部が進めている先行事例を参考に具体的な取組を実施・検討する予定としている。また、全学的組織として教育イノベーション推進センターを設置している。同センターは、教育の質保証及び教育改善のための取り組みについて全学的方針を策定し、新たな教育改革・改善活動等を推進している。（建築学部FD委員会規程は別紙のとおり）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>学部を開設し間もないため、現時点では委員会は開催されていないが、年度始めに全学のFD講演会を開催し、建築学部教員14名が参加した。建築学部のFD委員会は、年に4回程度の開催を予定している。前述の教育イノベーション推進センターの運営会議には、建築学部から2名出席している。また同センターにある部門の部門員にも建築学部の教員を推薦している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会では、教員の教育能力向上、授業内容の改善、授業技法の改善、その他、FD活動に関する事項を審議する予定としている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任教員研修会</li> <li>・ 教育・研究業績等評価シート作成</li> <li>・ 全学FD講演会</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任教員研修会：教育活動をする上での基礎理解、各種ガイドラインの理解等についての研修会の開催</li> <li>・ 教育・研究業績等評価シート作成：例年5月に、全専任教員は各自の達成目標と活動計画を策定し提出することとしている。また年度末には、達成度と改善点を記入し提出する。</li> <li>・ 全学FD講演会：本学の全教員を対象としたFD講演会の開催</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任教員研修会：4月に新任教員を対象に研修会を実施。9月及び2～3月にフォローアップ研修を実施予定。</li> <li>・ 教育・研究業績等評価シート作成：全専任教員は、5月に目標計画書を作成予定。</li> <li>・ 全学FD講演会：4月4日に開催し、建築学部教員14名が参加した。外部講師による基調講演の他、本学教員を対象とした優秀教育賞の表彰が行われた。6組の受賞者がそれぞれ受賞対象となった教育方法について講演を行った。</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任教員研修会：4月の研修に加え、9月には授業に関連する実践的な側面からの研修（フォローアップ研修会）の実施を予定している。</li> <li>・ 教育・研究業績等評価シート作成：例年5月に全専任教員は各自の達成目標と活動計画を策定し提出する。また年度末には、達成度と改善点を記入・提出する。これらは、所属の学部長等から学長に提出し、必要に応じて、助言が行われる他、全体公表が発せられる。本制度により、自己点検を実施する体制が確立しており、教育・研究の質を担保している。</li> <li>・ 全学FD講演会：教育賞の受賞者による教育方法について講演は、参加した多くの本学教員にとって刺激となる好事例であったため、授業改善へのよい示唆となった。</li> </ul>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期/後期修了時に当該科目の履修者を対象に実施

b 教員や学生への公開状況, 方法等

授業アンケートの結果は、担当教員にフィードバックされるとともに、学内者のみが閲覧できるシラバス検索システムで教職員学生が確認することができる。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、学校法人芝浦工業大学評価委員会規程に基づき、点検・評価を実施している。本学では、毎年、大学、各学部・研究科毎に自己点検・評価報告書を作成している。建築学部は、新設学部のため今年度より建築学部の自己・点検評価報告書を作成する予定である。設置の趣旨・目的の達成状況については、今年度から作成する自己点検・評価報告書で自ら検証し、また外部評価委員からの評価・所見をいただく予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成29年5月末 公表予定

(平成28年度5月を基準日とした建築学部の前身である工学部建築学科、建築工学科、デザイン工学部デザイン工学科の自己点検・評価報告書を公表予定。建築学部の自己点検・評価活動は、平成29年度4月より始動するため、建築学部の自己点検・評価報告書は、平成30年5月に公表予定。)

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成29年5月末を予定) :  
工学部建築学科、建築工学科分、デザイン工学部デザイン工学科分

③ 認証評価を受ける計画

・平成30年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

( 2017年 7月 1日 )